

困っている人の 助けになりたい



ふるかわ智康

道の駅に 50 億ではなく 「福祉・防災・子育て」の充実を

【防災・いのちを守る】

- ◇市民の命を守る防災対策の強化
- ◇防災ラジオ・避難所や高台の整備・狭い道路の拡幅
- ◇公共施設は災害時にも活用できるように整備
- ◇消防団は町の頼れるガードマン
報酬も出動時の費用弁償も厚く
- ◇緊急通報システムの無料化



完成した道の駅

【くらし・地域経済を豊かに】

- ◇巡回バスをもっと便利に
- ◇国保税、介護保険料の値下げを
- ◇事業支援や地産地消で地域産業を守る
- ◇福祉の窓口は親身に相談にのり、
住民の不安を取りのぞく
- ◇障がい者・高齢者の防災対策を強化
- ◇佐屋駅・日比野駅・永和駅の整備を

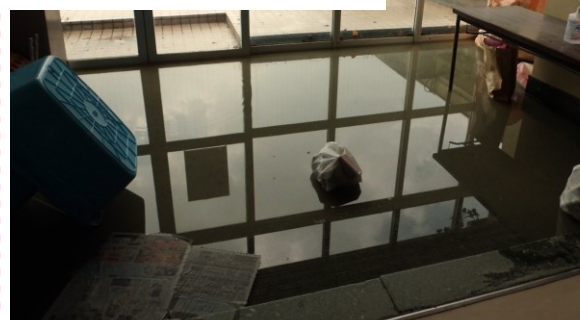
「道の駅」整備より、老朽校舎の改修が先



大雨により浸水した教室とロビー

【教育・子育て充実】

- ◇子どもは地域の宝、小中学校統廃合の中止を
 - ・老朽校舎の改修を
 - ・学校給食を無料に
 - ・トイレの洋式化
 - ・特別教室とすべての体育館にエアコン設置
- ◇高校生・大学生を対象に市独自の奨学金を
- ◇市立保育園の廃園・民営化は中止を



市議団 HP

日本共産党 ふるかわ 智康



ユースストアに勤務し 38 歳で店長になるも、直後ユニーに吸収合併され降格し他店の副店長となりました。異動や過労、上司のパワハラが重なり勤務中に急性心筋梗塞で倒れ、生死の境をさまよいました。職場復帰したものの障がいがあり退職せざるを得ませんでした。

身障者手帳や障がい者年金は自力でなんとか取得しましたが、福祉制度と手続きは誰も教えてくれませんでした。「これは、障がいをもつ者が皆通る苦難なのか。こんな行政はおかしい。自分が困っている人の助けになりたい」と思うようになりました。

そんなおり日本共産党の懇談会の誘いを受け、話を重ねていく中で「困った人を助ける」党の思想は私の考え方と同じだと思い、社会の矛盾をどうすれば改善できるのか考え、この党で学習し活動していくことが、正しい道だと確信し入党しました。

経歴 1968 年 三重県志摩市で生まれる 勝幡小、佐織中学校（柔道部）、津島高校（柔道部）、静岡大学人文学部社会学科卒（音楽サークル）
1991 年 スーパー「ユースストア」入社 2007 年 浜北於呂店店長 2012 年 急性心筋梗塞（身体障害者手帳取得）2014 年 ユニー退社
2014 年 東八幡団地自治会長 2020 年 日本共産党入党 現在 就労継続支援 A 型事業所、愛西市消防団所属（佐織第 1 分団）

加藤敏彦の仕事を引きつぎます



かとう敏彦元市議

ふるかわ智康予定候補

三人で力合わせ市政をかえます



河合かつい市議

ふるかわ智康予定候補

まの和久市議

ジェンダー平等を前へ
日本共産党

しあわせに
生きる自由を
すべての人へ

参院愛知選挙区
党県ジェンダー平等委員会責任者

すやま
須山 はつみ
初美

ひとり に寄り添える政治に

ひとりで生きる、二人で生きる、
家族で生きる——— どの選択をしても、
あなたらしく安心して生活できる
土台をつくるのが政治の責任です。
あなたに寄り添う政治を実現します。

消費税 今すぐ5%に
年金 上げる
学費 値下げ
最賃 1500円 以上に

参議院選挙制度解説（記載例）

比例は日本共産党と政党名で

あなたの声を聞かせてください 要求アンケート実施中

